

平成30年10月5日

保護者様

横浜市立高田小学校
校長 金子 一雄

全国学力・学習状況調査の結果について

紅葉の候 保護者の皆様におかれましては益々ご清祥の段 心よりお慶び申し上げます。

さて、4月に実施された6年生対象の『全国学力・学習状況調査』の結果についてお知らせをいたします。

本校では、これらの結果を客観的資料の一つとして受け止め、次のように授業改善にも努めます。『表現力を高める授業創り』を目指し、児童一人ひとりの学力をつけていくことに根気よく取り組んでいきます。また、自主的に学びに向かえるよう、実態に合わせた学習課題を設定し、基礎基本の定着に努めていきます。

なお、今回のような調査によって測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。今後ともご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

◇各教科 集計値

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
本校児童	76 %	60 %	71 %	59 %	63 %
神奈川県	70 %	54 %	64 %	52 %	60 %
全国	70.7 %	54.7 %	63.5 %	51.5 %	60.3 %

すべての調査の平均正答率が、神奈川県・全国の平均正答率を上回る結果となりました。

【国語】の結果について

「書くこと」の平均正答率が、神奈川県・全国を下回り、その他の領域では、上回りました。

読解能力や言語についての知識・理解は育っています。文章全体の構成の効果を考えて表現することが苦手な児童が多いです。

【算数】の結果について

全ての領域で全国の平均正答率を上回りました。

中でも、「量と測定」の正答率が高かったです。学習したことが定着していることがうかがえます。

【理科】の結果について

主に知識に関する問題の正答率が高かったです。「物質」・「生命」・「地球」についての正答率は、全国平均を上回りました。一方で、「エネルギー」の区分 が全国平均を下回りました。

学習したことは、知識として覚えています。実験の意味や応用することが苦手な児童が多いです。

◇児童質問紙による結果について

「勉強は大切だと思いますか。」の質問に対して「とてもそう思う。」「そう思う」と回答した児童が多いです。また「将来の夢や目標を持っていますか。」の質問に対して、前向きな回答がほとんどでした。目標をもち、学習に取り組もうとする児童が多いことがうかがえます。

◇今後の対策

- ・漢字や計算の練習を繰り返し行うことで理解を深め、さらなる定着を図る。
- ・目的に応じて資料を読み、自分の考えを分かりやすく伝える書き方の指導に努める。
- ・目的や意図に応じて、話の構成や内容を工夫し、場に応じた適切な言葉遣いで自分の考えを話すことに努める。
- ・問題の解決方法を考え、友達との意見交換を行い、考えを深めるようにする。
- ・課題解決に必然性をもたせるために、身近なところから学習の材を見付け、学習意欲の向上につなげる。